

整理番号	HT25218	分野	医歯薬、化学	(キーワード)	生薬、漢方薬
------	---------	----	--------	---------	--------

徳島文理大学

漢方薬って苦い？渋い？甘い？何故？何が？～漢方薬を分析してみよう！

先生(代表者)	代田 修(しろた おさむ) 香川薬学部・教授			
自己紹介	植物に含まれる多種多様な構造を有する化学成分に興味を持ち、大学院生の頃からブラジル、ペルー、中国、韓国、そして最近ではミャンマーなどへ植物を探しに行きました。植物の中には薬となるもの、毒となるもの、そして幻覚性を示すものなどがあります。それらの成分を取り出して、その化学構造を明らかにすることで、構造多様性の解明を目指しています。			
開催日時・ 主な募集対象	平成25年8月6日(火)	(対象)	中学生 高校生	(人数) 20名
集合場所・時間	徳島文理大学 香川薬学部1階会議室	(集合時間)	10:00	
開催会場 (集合場所)	徳島文理大学 香川薬学部 住所: 〒769-2193 香川県さぬき市志度1314-1 アクセスマップ: http://kp.bunri-u.ac.jp/access/index.html			
内 容				
昔から人類は自然に生えている植物を利用してきました。それらには食料はもちろん、薬や毒になるものもあります。薬として発展したものに漢方薬があります。今までに漢方薬を飲んだことがありますか？苦かったですか？渋かったですか？それとも甘かったですか？漢方薬を構成する生薬(しょうやく: 薬用植物などを乾燥したもの)にも様々な成分(化学物質)が含まれています。実際に漢方薬を煎じて、その成分を分析してみましょう！				
				
実験風景		生薬標本		
スケジュール				持 ち 物
9:30～10:00	受付(ロビー: 事前アンケート、名札・白衣等の配付)			筆記用具等
10:00～10:20	開講式(会議室: 挨拶、日程説明、科研費の説明)			
10:20～10:50	講義「意外に身近な薬と毒の話」講師: 代田 修			
10:50～11:00	実習室(4階)へ移動			
11:00～12:20	実習1「漢方薬の調製と構成生薬の体験」			
12:20～12:30	会議室へ移動			

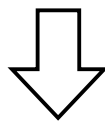
12:30～13:20	昼食(参加者と本学の教員・学生との懇親)	特記事項 動きやすい服装でご参加ください。安全のため、スニーカーでの参加をお勧めします。また、ディスプレイの白衣を配布します。 昼食は用意してあります。 保護者のご参加・観覧も可能ですが、昼食等については実費(1,000円程度)を申し受けます(要事前予約)。
13:20～13:30	実習室へ移動	
13:30～15:20	実習2「クロマトグラフィーによる成分の分析」	
15:20～15:30	会議室へ移動	
15:30～16:00	クッキータイム(お茶とお菓子を用意します。特製ハーブティーなども試してもらいます。)	
16:00～16:30	薬用植物園の見学(雨天の場合、研究施設の見学へ変更します。)	
16:30～17:00	修了式(事後アンケート記入、未来博士号授与、質問タイム、記念撮影)	
17:00～	解散	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	徳島文理大学香川薬学部・代田 修(しろた おさむ)
住所：	〒769-2193 香川県さぬき市志度1314-1
TEL 番号：	087-894-5111 (内線 6301)
FAX 番号：	087-894-0181 (学部代表)
E-mail：	shirota@kph.bunri-u.ac.jp
申込締切日：	平成25年7月26日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
代田 修	H22-24	基盤研究(C)	22590030	幻覚性植物が含有する化学成分の構造多様性解明に向けた化学的研究



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。